



出雲医療看護専門学校

小・中・高校生から専門学校生、大学生まで、若い人たちの意見を集めるコーナー「ヤングこたま」(日曜日掲載)です。今回は出雲医療看護専門学校、学校、学級単位での投稿を募っています。投稿希望の学校は「ヤングこたま」係・電話0852-2223305までご連絡ください。

将来の夢実現に向けて努力

臨床工学技士学科

2年 玉木絵梨奈

「医療機器を取り扱うスペシャリスト」という言葉を見て、私はより臨床工学技士の仕事に興味を持つようになりました。高校のとき、担任の先生が勧めてくださいました。本校のパンフレットに載っていた言葉でした。

もともと私は機械に触れることが好きで、工業校がなぐ、経済的なこと

から進学を諦めていました。そのとき、本校が開校することを知り、パンフレットや学校見学を通して夢を実現しようと入学しました。

臨床工学技士は人工心肺装置や血液透析などに携わり、医療機器を通して患者さんの命に直接関わる重要な仕事です。本校は設備が新しく、学ぶには最適なと思います。

将来の夢の実現に、毎日の講義に真剣に取り組むたいと思います。

感謝の気持ちの大切さ学ぶ

看護学科

2年 城下 真穂

「文化芸術同好会」を結成しました。文化を学ぶ感性を豊かにすること

で、表現の幅を広げていくことを目的としています。学校内で七夕やクリスマスなどの季節の飾り付けをし、学校祭では展示や模擬店を中心に行いました。

学校祭では、初めての大きな行事に同好会として参加しました。計画案の作成や準備において戸惑うこともありましたが、同好会の仲間の協力によって無事に終えることができました。

振り返ると、これまで

年上、高齢者の方に学ぶ

言語聴覚士学科

2年 坂本 修平

「あいさつだけでなく、言葉遣いや態度についても徐々に自然と身に付いてきました。月に一度、私の学科では外部からお越しいただく高齢者の方々の交流会があります。初めは年上の方とのコミュニケーションは緊張しましたが、時間をかけて相手の方を尊重することで次第に接し方も分かり、礼儀も学ぶことができました。

また、高齢者ならではのさまざまな知識を教えることもできています。自分の視野がどんどん広がっていき、いろいろな気がしています。

苦しみ患者さん楽に笑顔に

理学療法士学科

2年 梶谷 遙

昨年4月、新設の出雲

医療看護専門学校に入学しました。医療の専門分野は、基礎知識がない私にはとても難しく思いましたが、共に学ぶ仲間がおり、分かりやすく指導

してくださる先生方のおかげで毎日頑張っています。

実習では臨床現場を見学しました。理学療法士の皆さんは生き生きと動いておられ、患者さんは笑顔で治療を受け

ておられました。私は

このような現場を見学することで、人を笑顔にできる仕事は素晴らしいことだ。

私が理学療法士学科に入学したのは、苦しんでおられる患者さんを少しでも楽にしてあげたい、笑顔にしてあげたいという気持ちからです。その

気持ちが思いついて頑張ります。

講義はとても難しく感じますが、自分

の夢を実現するために、また同じ夢を目指して頑張っている仲間と共に、一緒に頑張りたいと思います。

進んでいきたいと思

順調に活動をしていくことができたのも、同好会の仲間はもちろん、願

問の先生やさまざまな方たちの協力があったおかげという事に気がきました。また、活動を通して、相手に対して感謝の気持ちを持つことの大切さを学ぶことができました。

これからもっと活動の幅を広げていくために、さまざまな文化を学び、同好会で共有していきたいと思

うと思っています。これから、コミュニケーションが上手にできるようになるために、「見る」「聴く」「伝える」に心を込める努力をしたいと思

います。